

「絶望を希望に変える神」

エゼキエル書37章1～14節

1

神との関係をあらわすイメージ



2

【主】の御手が私の上であり、【主】の霊によって、私は連れ出され、谷間の真ん中に置かれた。そこには骨が満ちていた主は私にその上をあちこちらと行き巡らせた。なんと、その谷間には非常に多くの骨があり、ひどく干からびていた。主は私に仰せられた「人の子よ。これらの骨は生き返ることができようか。」私は答えた。「神、主よ。あなたをご存じます。」主は私に仰せられた。「これらの骨に預言して言え。干からびた骨よ。【主】のことばを聞け。神である主はこれらの骨にこう仰せられる。見よ。わたしがおまえたちの中に息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。わたしがおまえたちに筋をつけ、肉を生じさせ、皮膚でおおい、おまえたちの中に息を与え、おまえたちが生き返るとき、おまえたちはわたしが【主】であることを知ろう。」エゼキエル37:1-6

3

私は、命じられたように預言した。私が預言していると、音がした。なんと、大きなどろき。すると、骨と骨とが互いにつながった。私が見ていると、なんと、その上に筋がつき、肉が生じ、皮膚がその上をすっかりおおった。しかし、その中に息はなかった。そのとき、主は仰せられた。「息に預言せよ。人の子よ。預言してその息に言え。神である主はこう仰せられる。息よ。四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。」私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立ち上がった。非常に多くの集団であった。エゼキエル37:7-10

4

主は私に仰せられた。「人の子よ。これらの骨はイスラエルの全家である。ああ、彼らは『私たちの骨は干からび、望みは消えうせ、私たちは断ち切られる』と言っている。それゆえ、預言して彼らに言え。神である主はこう仰せられる。わたしの民よ。見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知ろう。わたしがまた、わたしの霊をあなたがたのうちにいれ、あなたがたは生き返る。わたしは、あなたがたをあなたがたの地に住みつかせる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしがこれを語り、これを成し遂げたことを知ろう。—【主】の御告げ—」 37:11-14

5

絶望的な人間

- **人の一生は草のよう**。野の花のように咲く。風がそこを過ぎると、それはもはやなく、その場所すらそれを知らない。詩103:15-16
- あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。**あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません**。ヤコブ4:14

6

絶望的な人間

- 「私たちの骨は干からび、望みは消え失せ、私たちは断ち切られる。」 イゼキエル37:11
- 「父が酸いぶどうを食べたので、こどもの歯が浮く」 18:2
- イスラエルの家よ。なぜ、あなたがたは死のうとするのか。わたしは、だれが死ぬのも喜ばないからだ。—神である主の御告げ—だから悔い改めて、生きよ。 イゼキエル18:31-32

7

絶望的な人間の希望

- 「私たちが滅び失せなかったのは、主の恵みによる、主のあわれみは尽きないからだ。」哀歌3:22
- あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。 イヘ'2:1-2
- ですから、思い出してください。あなたがたは、以前は肉において異邦人でした。、、、そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世において望みもなく、神もない人々でした。 イヘ'2:11-12

8

絶望的な人間の希望

- あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることのない、神のことばによるのです。「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」とあるからです。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことばがこれです。 1ペテロ1:23-25、イサヤ40:6-8
- それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにおいて新しい歩みをするためです。 ロ-7:6:3-4

9

絶望的な人間の希望

- 「父と子と聖霊の名による(名に入る)バプテスマ。」 マタイ28:19 バプテスマを受けた時に罪の赦しと賜物としての聖霊が受けた。使徒2:38 神の三位一体の関係の中に、そして神の霊が私たちの中に入って下さる。
- 希望の生活は、神向きの生活(悔い改め)、神といっしょに信仰で進行!
- 救いもクリスチャン生活も神のわざ。
- 救いは神といっしょに生きるため。

10

絶望的な人間の希望

- もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるならキリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてください。 ロ-7:8:11
- 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。 2コリント3:18

11

絶望的な人間の希望

- 「わたしの民よ」 神の民。「神」よりも「民」が中心になったら。民族主義、領土問題になる
- 救いは自分の手の中に入れるものではなく、自分を神の手の中に入れること。
- 内村鑑三「ふたつの「J」を愛せよ」 Jesusと Japan
- ひとつのJ(Jesus)を愛せよ。もうひとつのJ(自分)に注意せよ。
- ふたつの「J」ならJesusと人類のJ! イエス様とすべての人を愛する! のほうが良い。

12